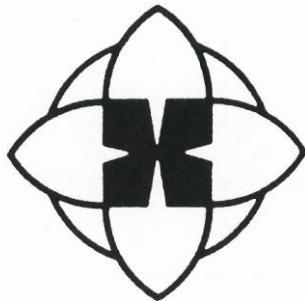


令和5年度

運営に関する計画



令和5年4月

大阪市立矢田北小学校

現状と課題

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症も 3 年目となり、感染対策をしつつ通常の行事に取り組むように努めてきた。重点課題としてきた「学力保障」・「集団の育成」に向けた取組を進める中で、体力や保健、規範意識の向上など、一定の成果もあった。しかし、不登校や英語、ICT 機器の活用など、新たな課題も見えてきた。

【安全・安心な教育の推進】**全市共通目標(小学校)**

○令和 4 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87 %以上にする。

⇒ 未達成(74.5%) 3 年 (78.9) 4 年 (84.0) 5 年 (60.9) 6 年 (74.1)

○令和 4 年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

⇒ 達成(4.05→4.00) 6 人→6 人

○令和 4 年度末校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

⇒ R4 より(16.7) 1 名は、改善したが、新たに 1 名増加

毎学期いじめアンケートを実施した他、日々の学級指導による担任による声かけ、タブレットによる相談機能の活用等により、未然防止、早期発見、早期解決に努めた。軽微なものをすばやく発見し、すぐ対応することでいじめ重大事案にならないように努力している。経過観察が必要な案件もあるが、無事解決に至っている。

現在不登校・不登校傾向のある児童は全体で 6 名と、昨年度の 6 名と同数である。改善した児童もいるが、新たに学校へ登校しにくくなる児童も 1 名増えた。「学校へ行かせる意味がない」という価値観をもつ保護者もあり、対応に苦慮している。また、家庭環境が安定せず、引き続き関係機関と協力し、見守りを続けていかなければならない児童も多く在籍している。高学年に進級し、「学校を休む」=「学習の遅れ」という負のスパイラルに陥ってしまうとさらに不登校傾向が悪化するため、今後、スクールカウンセラーや SSW、区役所の子どもサポートネットなど、関係機関との連携を深め、よりよい支援を探りつつ支援を続けていく。

学校の年度目標

○令和 4 年度末校内調査の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を 88 %以上にする。

⇒ 未達成(94.7%→84.7%) - 10.0

○令和 4 年度末校内調査の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を 90 %以上にする。

⇒ 達成(92.4%→91.9%) - 0.5

○令和 4 年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を 86 %以上にする。

⇒ 未達成(88.6%→85.4%) - 3.2

「楽しく学校に通っている」の肯定的回答が下がったことは、深く受け止める。児童の気持ちに寄り添い、楽しい学校になるように努めたい。また、「きまり」に関しては、生活目標の設定やあいさつ運動等、ルールを守るということについて、その意味や自分の行動について振り返るよう指導した。また、今後も道徳教育や人権教育、課内実践等を通して、「相手の気持ちを考えて行動すること」や「心を耕す教育」を推進していく。

次年度も継続して取り組み、本当の意味で行動に移せる児童の割合を増やすことを目指す。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

○令和4年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、40%以上にする。

⇒ 未達成(33.5%→32.0%) - 1.5

6年(29.6) 5年(34.8) 4年(32.0) 3年(31.6)

○令和4年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。

⇒ 未達成 6年国(-0.02) × 5年国(+0.03) ○ 4年国(+0.03) ○

⇒ 未達成 6年算(+0.09) ○ 5年算(-0.25) × 4年算(-0.16) ×

○令和4年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

⇒ 未達成(77.2%→49.1%) - 28.1

6年(29.6) 5年(30.4) 4年(68.0) 3年(68.4)

○令和4年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を68%以上にする。

⇒ 達成(74.1%→73.5%) - 0.6

6年(66.7) 5年(69.6) 4年(84.0) 3年(73.7)

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」については、昨年度より若干下がった。今後も「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動を進めていく。

国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較した結果、国語に関しては、2学年向上できた。算数については、1学年のみとなった。全体では、未達成だが、国語については、成果が出ている。引き続き、個に応じた丁寧な指導を続けるとともに授業力の向上に取り組む。

外国語（英語）に関しては、(3年 68.4・4年 68.0・5年 30.4・6年 29.6)と高学年が特に低い値となっている。楽しく英語に触れる機会等を増やし、改善をしたい。

運動に関しては、なわとび集会やランランタイム、中学校の先生による指導等の取り組みにより、成果が出た。一輪車や竹馬の整備等、運動できる環境の整備も引き続き、進めていく。

学校の年度目標

- 令和4年度の小学校学力経年調査の結果が、国語算数の全24観点のうち、50%以上の観点が大阪市の平均を上回るようにする。
⇒ 未達成(8観点) (4年国3 4年算1 6年国1 6年算3)
1 ○教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を87%以上にする。
⇒ 達成(91.6%→91.9%) +0.3
○「手洗い週間」を実施し、手洗いチェックで「せっけんで手を洗った」と答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より2%向上させる。
⇒ 未達成(92.7%→91.4%) -1.3
学力については、引き続き、研究教科を設定し、教育センターや教育委員会のアドバイスを受けながら、授業力の向上に努めたい。また、矢田北タイムや漢字検定、図書館の充実、読書活動（読み聞かせ）やデジタルドリルの活用をさらに進め、基礎基本の定着に取り組む。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回以上実施し、ICTを活用した教育を推進する。
⇒ 未達成 毎日タブレットを持って帰らせた。家庭学習については、できていない学年もある。
○「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。
⇒ 達成(88.2%) 毎週金曜日に設定し、帰るよう努めた。
ICTの活用に関しては、月間使用率100%となり、向上している。しかしながら、ICTを活用した家庭学習に関しては、学年の実態に応じて、できていない学年もある。活用事例の研修などを進め、取り組みを強化していきたい。保健の「手洗い」に関しては、1学期よりは、少し下がったが、概ね90%を超えており、定着したと考える。

学校の年度目標

- 学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を1日1回以上入力し、児童の心の状態や日々の生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。
⇒ 未達成 入力率は、60%
○令和4年度末校内調査の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を60%以上にする。
⇒ 未達成(62.2%→54.8%) -7.4
○教育アンケート項目「学校は、家庭・地域（見守り活動、読書活動支援、地域交流行事等）等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を85%以上にする。
⇒ 達成(95.3%→93.4%) -1.9

「心の天気」に関しては、子どもの安心・安全のため、必ず入力するよう来年度は、取り組みを進める。読書に関しては、読書通帳、読み聞かせ等の取り組みを進めたが、結果としては、下がってしまった。今後、「ほっと（本と）スペース」の設置なども進め、読書環境の充実に努めたい。ホームページに関しても保護者メールと連携し、わかりやすいホームページを目指し、情報発信を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。R4 84.7%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。R4 91.9%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を88%以上にする。R4 85.4%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7（2025）年度の小学校学力経年調査の結果、国語・算数の全24観点のうち、**16**観点以上が大阪市の平均を上回るようにする。

R4 (8観点) (4年国3 4年算1 6年国1 6年算3)

○令和7（2025）年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

R4 49.1%

○令和7（2025）年度の教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

R4 73.5%

○「手洗い・（うがい）週間」を実施し、アンケートの手洗い・うがいチェックで「せっけんで手を洗った」と答える児童の割合を98%以上にする。

R4 91.4%

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「日々の授業の中で、パソコンやタブレットを使い、**学習することができている**。」に肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。

R4 88.4%

○ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

R4 88.2%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

R4 54.8%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「学校は、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を90%以上にする。

R4 93.4%

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

○令和5年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87% 以上にする。 R4 74. 5%

○令和5年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
6人→6人

○令和5年度末校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
R4 16. 7

学校の年度目標

○令和5年度末校内調査の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を 88% 以上にする。 R4 84. 7%

○令和5年度末校内調査の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を 90% 以上にする。 R4 91. 9%

○令和5年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を 86% 以上にする。 R4 85. 4%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、40%以上 にする。 R4 32. 0%

○令和5年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0. 05ポイント 向上させる。

○令和5年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上 にする。 R4 70. 4%

○令和5年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上 にする。 R4 49. 1%

○令和5年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 75%以上 にする。 R4 73. 5%

学校の年度目標

○令和5年度の小学校学力経年調査の結果が、国語算数の全24観点のうち、10観点 が大阪市の平均を上回るようにする。 R4 (8観点)

○教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80%以上 にする。 R4 73. 5%

○「健康週間」を実施し、健康チェックで肯定的に回答すると答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より 2% 向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回以上実施し、ICTを活用した教育を推進する。
- 「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。

R4 88. 2%

学校の年度目標

- 学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を1日1回以上入力し、月間使用率をあげ、児童の心情や生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。
- 令和4年度末校内調査の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を60%以上にする。 R4 54. 8%
- 教育アンケート項目「学校は、家庭・地域（見守り活動、読書活動支援、地域交流行事等）等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を95%以上にする。 R4 93. 4%

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立矢田北小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった		年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】			
全市共通目標（小学校）		○令和 5 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87 % 以上にする。 ○令和 5 年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○令和 5 年度末校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。	
学校の年度目標		○令和 5 年度末校内調査の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を 88 % 以上にする。 ○令和 5 年度末校内調査の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を 90 % 以上にする。 ○令和 5 年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を 86 % 以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 道徳教育や人権教育（外国人教育、特別支援教育、平和教育など）の充実を図り、互いの考えを交流しあい、命や人権の尊さについて考え良好な人間関係を目指そうとする集団を育成する。 <u>(道徳教育・人権を尊重する教育・インクルーシブ教育・多文化共生教育の推進)</u> 指標(1)年間を通して道徳教育を行い、道徳的価値理解だけでなく、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考える学習を通して道徳的な態度を養う。 (2)年間を通じて行われる平和学習、課内実践（民族講師・老師などとの交流）、特別支援理解教育などを実施し、各学年が学び取ったことを交流する場を年に一回以上設定する。 (3)人権学習週間を設定し、「ひと・いのち（ひと・ぬくもり）（ひと・つながり）」などを活用した授業を年に一回以上実施する。	
取組内容② 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 毎月生活目標を設定し、各学期に強調週間を設け、全教職員で学校のきまりを指導する。 <u>(問題行動への対応・安全教育の推進)</u>	

<p>指標 每月生活目標を設定し、各学期に強調週間を設け、全教職員で学校のきまりを指導する。グーティングメダル等を活用する。 (特にあいさつを重視して指導していく)</p> <p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>様々な特別活動の場で、児童一人ひとりが活躍できる場を設定する。 (キャリア教育の充実)</p> <p>指標 各学級、学校行事、児童会活動、集会活動などで、発表する場を設定する。</p> <p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>子どもの発達段階に応じてキャリア教育を推進し、各学年で文化的・体験的な学習を実施する。 (キャリア教育の充実)</p> <p>指標(1)各教科において年間通じてキャリア教育を行っていく。</p> <p>(2)各学年が体験活動を計画・実施し、全校児童でも芸術活動を実施する。 (各学年の社会見学、キッザニア甲子園での職業体験、外部講師を招いての出前授業、劇や音楽鑑賞など)</p> <p>取組内容⑤【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「心の天気」「相談機能」等を活用し、児童の実態把握に努め、指導に生かす。 ((問題行動への対応・安全教育の推進))</p> <p>指標 「学校が楽しい」と答える児童を88%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立矢田北小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
全市共通目標（小学校）	
○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、 <u>40%以上</u> にする。R4_32.0%	
○令和5年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.05ポイント</u> 向上させる。	
○令和5年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上</u> にする。R4_70.4%	
○令和5年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>60%以上</u> にする。R4_49.1%	
○令和5年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を <u>75%以上</u> にする。R4_73.5%	
学校の年度目標	
○令和5年度の小学校学力経年調査の結果が、国語算数の全24観点のうち、 <u>10観点</u> が大阪市の平均を上回るようにする。R4(8観点)	
○教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を <u>90%以上</u> にする。R4_91.9%	
○「健康週間」を実施し、健康チェックで肯定的に回答すると答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より2%向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力向上】 算数科を研究教科とし、全学年で授業研究および協議会を実施する。課題に向き合う力の定着、自分の考えを表現する力をつけるための指導法についての研究を推進する。また、ポジティブ行動支援を意識した授業づくりも進めていく。 (言語活動の充実(思考力・判断力・表現力の育成))	
指標 各学年1回以上の研究授業、討議会の実施、外部講師による全体研修会を5回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】 学力向上の時間を設定し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。	

<p>(「主体的・対話的で深い学び」の推進・個別支援の充実)</p> <p>指標 朝の10分間の矢田北タイムを設定し、漢字タイム、読書タイム、計算タイムを実施する。また、学習支援ツール「ナビマ」の活用を進める。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>家庭学習に取り組む児童を増やす工夫を行う。</p> <p>(「主体的・対話的で深い学び」の推進・個別支援の充実)</p>	
<p>指標 低・中・高学年向けの家庭学習の手引きを配付する。日記学習や自主学習などの家庭学習を月2回以上取り組む。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>全校で外国語教育を推進し、コミュニケーション能力をつける。</p> <p>(英語教育の強化)</p>	
<p>指標</p> <p>英語モジュール10分×2回を設定し、全学年で外国語活動を実施する。</p> <p>校内研修会を年1回以上実施し、効果的な授業実践を行う。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業や体育的行事を通して、運動する喜びを実感させる。</p> <p>(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>	
<p>指標 なわとび集会や、ランランタイムを実施など、全校児童が楽しく参加できる体育的行事を実施する。また、スポーツ夢・事業など、外部講師を招いた体育授業を年2回以上行い、生涯スポーツへつなげる。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康な身体をつくるために規則正しい生活習慣を身につける。</p> <p>(健康教育・食育の推進)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「けがの防止」についての啓発（けがマップ等）を行い、校内での打撲（353件）・すりきず（287件）を令和5年度、昨年度より1割減を目指す。 ・給食後の「ぶくぶくうがい」や「歯」に関する授業の実施、歯科受診の啓蒙等を進め、虫歯率を減少させる。R4（34人） ・健康アンケートを実施し、1学期結果よりも向上させる。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立矢田北小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習者用端末を活用した家庭学習を週1回以上実施し、ICTを活用した教育を推進する。 ○「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を<u>1日1回以上入力</u>し、児童の心の状態や日々の生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。 ○令和5年度末校内調査の学校アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を60%以上にする。 ○教育アンケート項目「学校は、家庭・地域（見守り活動、読書活動支援、地域交流行事等）等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を85%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DX（デジタルransフォーメーションの推進）】</p> <p>ICTを活用した教育やプログラミング教育に取り組み児童の思考力・表現力を育てる。 (ICTを活用した教育の推進)</p> <p>指標 タブレット端末等に関する教育アンケートにおいて肯定的回答の割合を80%以上とする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向6、教育DX（デジタルransフォーメーションの推進）】</p> <p>スクールライフノートの「心の天気」やデジタルドリルも活用し、児童のタブレット使用率を向上させる。 (ICTを活用した教育の推進)</p> <p>指標 「心の天気」活用率を100%とする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>金曜日を「ゆとりの日」に設定し、原則18:00退勤を実施する。 (働き方改革の推進)</p> <p>指標</p> <p>学校教育アンケートで「ゆとりの日に18:00まで退勤できるように努めた。」の割合を肯定的回答の割合を80%以上とする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>図書館開放等、学校司書や読み聞かせボランティアとの連携のもと、意欲をもって読書に親しむ環境を整える。（読書カード、読み聞かせ会、アニメーション</p>	

等、読書の楽しさを伝える取り組みを進める。)	(学校図書館の活性化)	
指標 図書館やほっとスペースの利用を増やし、学校アンケートで「本を読む機会が増えた」という項目で肯定的な意見を60%以上にする。		
取組内容⑤【 基本的な方向9 、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 学校・学年だよりやホームページ等を活用したり、家庭連絡等で、児童の活動や学校の様子を伝え、連携を深める。 地域行事の交流活動を通して、自他を思いやる気持ちを育てる。		
指標 教育アンケート項目「学校は、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を80%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		